

〔ご挨拶〕

今年の3月11日で「東日本大震災」から15年を数えます。2025年の統計で、全国47都道府県の817市区町村に、今もなお27,000人の方々が避難されています。そして未だ「原子力緊急事態宣言」は発令中です。東京電力福島第一原子力発電所事故で拡散された大量の放射性物質の一つ、セシウム137の半減期は30年と言われます。原発の廃炉作業は、未だその先が見えません。汚染された土の行方も不明です。原子力災害は今も続いています。被災した地と被災された方々の悲しみ、痛み、は続いています。時は過ぎますが、私たちは覚え続け、祈り続け、被災地と被災された方々に寄り添います。どうぞこの日に、祈りを合わせ、心を合わせ、この地を、この人々を思い起こしてください。主の恵みを祈ります。

東北バプテスト連合被災支援委員会/日本バプテスト連盟被災地支援委員会

■東京電力福島第一原子力発電所事故の時系列

・2011年3月9日

11:45 三陸沖で M7.3 の地震発生。宮城県で最大震度5弱を観測。東北、北海道、関東の太平洋沿岸の一部、伊豆諸島で津波を観測。

・2011年3月11日

14:46 福島沖で M9.0の地震発生。広範囲の太平洋沿岸に津波到来。死者・行方不明者2万人以上となり、甚大な被害が生じた。この地震を気象庁は、「2011年東北地方太平洋沖地震」と命名。いわゆる「東日本大震災」が起こる。

15:37 津波で東京電力福島第一原発1号機・2号機の全交流電源喪失

21:23 政府は東京電力福島第一原発から半径3㎞以内の住民に避難指示3㎞から10㎞以内の住民に屋内退避指示。

・2011年3月12日

15:36 東京電力福島第一原発1号機が水素爆発

18:25 東京電力福島第一原発から半径20㎞圏内に避難指示

・2011年3月13日

08:25 東京電力福島第一原発1号機燃料プールから湯気を確認

・2011年3月14日

11:01 東京電力福島第一原発3号機が水素爆発

・2011年3月15日

06:10 東京電力福島第一原発2号機の格納容器損傷・圧力がゼロに

06:14 東京電力福島第一原発4号機が水素爆発 吉田所長以下70人を残し、東京電力福島第二原発に避難

※こうして放出された大量の放射性物質は、プルームと呼ばれる気体の塊となり拡散し、広範囲が放射能で汚染された。

2026年^{ねん}3月^{がつ}11日^{にち}

ひがしにほんだいいしんさい
東日本大震災から15年^{ねん}を数^{かぞ}えての祈^{いの}り

～詩編^{しへん}23編^{へん}によせて～

とうほく
東北バプテスト連^{れん}合^{ごう}被^ひ災^{さい}支^し援^{えん}委^い員^{いん}会^{かい}

しゅ わたし ひつじか
主は私たちの羊飼^{ひつじか}い。あの日^ひも、そして今^{きょう}日も。

しゅ
主よ、15年^{ねん}が経^{ねん}ちました。

うしな いのち おも とき むね おく いた はし
失^{うしな}われた命^{いのち}を想^{おも}う時^{とき}、胸^{むね}の奥^{おく}に痛^{いた}みが走^{はし}ります。

ゆれ うご だいち さけ こえ おし よ せむ なみ
揺^{ゆれ}れ動^{うご}く大^{だいち}地^ち、叫^{さけ}び声^{こえ}、押^{おし}し寄^よせる波^{なみ}、

とうかい いえいえ わたし おぼ
そして倒^{とうかい}壊^{かい}した家^{いえ}々^{いえ}を、私^{わたし}たちは覚^{おぼ}えています。

いのち うしな ひとびと かれ ふるさと よ ぼしよ
命^{いのち}を失^{うしな}った人^{ひと}々^{びと}、彼^{かれ}ら^らのこ^こみ^みゆ^ゆに^にて^てい^い、そ^そし^して^て故^{ふる}郷^{さと}と呼^よんで^よいた^よ場^ば所^{しよ}を、

わたし おぼ
私^{わたし}たちは覚^{おぼ}えています。

ことば なげ なか わたし とも たち
あな^あな^なは、言^{こと}葉^ばに^にら^らな^ない^い嘆^{なげ}き^なの^{なか}中^{なか}で、私^{わたし}たち^{たち}と共^{とも}に^に立^たち、

なみだ なが わたし とも あゆ
涙^{なみだ}を流^{なが}しな^なが^がら^らも、私^{わたし}たち^{たち}と共^{とも}に^に歩^{あゆ}んで^あく^くだ^ださ^さい^いま^ました。

しゅ きず つか は ひとびと
主^{しゅ}よ、あな^あな^なは^は傷^{きず}つ^つき、疲^{つか}れ^れ果^はて^てた^た人^{ひと}々^{びと}を、

みどり ぼくそうち いこい みず みちび
緑^{みどり}の牧^{ぼく}草^{そう}地^ちと憩^{いこい}い^いの^み水^ずへ^へと導^{みちび}いて^いて^てく^くだ^ださ^さい^いま^ます。

わたし たまい いや ただ みち ちび
あな^あな^なは^は私^{わたし}たち^{たち}の^の魂^{たま}い^いを^を癒^{いや}し、正^{ただ}しい^い道^{みち}へ^へと導^{ちび}いて^いて^てく^くだ^ださ^さい^いま^ます。

しかし、主よ、この国をご覧ください。

原子力発電所の事故という、取り返しのつかない痛みと教訓を経験しながら、

すでに原発の再稼働を選び取っている現実を。

記憶がいかに容易に薄れていくかを、私たちは知っています。

かつての痛みと悲しみが風化し、あの日を知らない世代が増えています。

私たちに、忘れない心、

利益や効率よりも命を守ることを選ぶ正しい心を与えてください。

死の陰の谷を歩むときも、私たちは恐れません。

あなたは私たちと共にいてくださるからです。

あなたの御手によって、悲しむ者を支え、疲れた者に力を与えてください。

あなたは、たとえ苦しみの中にもあっても、

私たちに必要なものを備えてくださいます。

私たちの心をあなたの平安で満たしてください。

主よ、あなたの慈しみと憐れみが、私たちの生涯に渡り、続きますように。

どこにいても、あなたの御名に留まり、希望をしっかりと持ち、

信頼をもって歩むことができるように助けてください。

言葉にできないことをすべてあなたに委ね、

主イエス・キリストの御名によってこの祈りを捧げます。

アーメン。

March 11. 2026

Prayer on the Fifteenth Anniversary of the Great East Japan Earthquake

(Inspired by Psalm 23)

Disaster Relief Committee of Tohoku Baptist Union

The Lord is our shepherd,
on that day, and even today.

O Lord, fifteen years have passed.

When we remember the lives that were lost,
the pain still dwells deep within our hearts.

We remember the trembling earth, the cries,
the rushing waves, and the collapsed homes.

We remember those who lost their lives,
their communities, and the places they once called home.

You stood with us in our wordless lament,
and walked with us, even as we wept.

O Lord,
you lead the wounded and the weary
to green pastures and to still waters.

You heal our souls
and guide us along the right paths.

Yet, O Lord, look upon this nation.

Though we have experienced the irreversible pain
and hard lessons of a nuclear power plant accident,
we see the reality that the restart of nuclear power

has already been chosen.
We know how easily memory fades.
Past pain and sorrow grow distant,
and more people now live without knowing that day.
Grant us hearts that do not forget,
hearts that choose the protection of life
over profit and efficiency.

Even when we walk through the valley
of the shadow of death,
we will not fear,
for you are with us.

By your hand,
support those who mourn
and give strength to the weary.
Even in the midst of hardship,
you provide what we need.
Fill our hearts with your peace.

O Lord,
may your lovingkindness and mercy
follow us all the days of our lives.
Wherever we may be,
help us to remain in your name,
to hold fast to hope,
and to walk forward in trust.
We entrust to you all that cannot be put into words,
and we offer this prayer
in the name of our Lord Jesus Christ.

Amen.

2026年3月11日〔祈りの課題〕

東北バプテスト連合被災支援委員会

- *東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から15年を数えます。北海道から千葉県に至る、東日本の広範囲の地域で被災された方々に主の慰めがありますように。
- *今もなお避難を余儀なくされている方々に、主の守りと支えが豊かにありますように。
- *これからも引き続き起こるであろう災害への備えができますように。そして、東日本大震災の様々な経験が活かされますように。
- *東京電力福島第一原発の事故によって放出された、大量の放射性物質による健康被害から守られますように。そして、「廃炉」や「汚染土・汚染水」処理が安全に進みますように。
- *国内のいくつもの原子力発電所が再稼働されようとする中、各地で想定される巨大地震と、原子力発電所の持つ危険性を忘れることがありませんように。そして再び、原子力発電所に関わるあらゆる事故が起きませんように。
- *能登半島地震をはじめ、国内外で起こっている自然災害で被災された方々に、主の慰めが豊かにありますように。そして、その避難している場所で、あらゆる感染症から守られますように。
- *ミャンマーの軍事クーデター、ロシアによるウクライナ侵攻による紛争、イスラエルによるガザ攻撃、アメリカによるベネズエラへの武力介入など、世界各地での争いや戦いが停止するように。そして、その痛みを共感することができますように。また、沖縄の方々の痛みと共に歩むことができますように。そして、和解の務めを担う者となりますように。